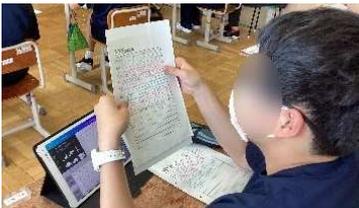
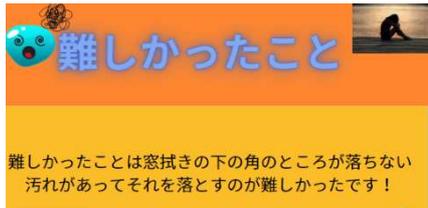


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

自分の考えやイメージを表現するための ICT 活用 「校内実習の発表・ロゴの製作」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部1年
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> 発表を通してよい評価を受けたことが少なく、自信をもって発表することが難しい。 書字やイラストを描くことに時間がかかり、自分自身の考えをまとめることが難しい。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	職業
	単元(題材)名	単元名「校内実習を振り返って」 前期校内実習 単元名「よりよい販売方法について考えよう」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> 校内実習を通して学習したことをまとめる活動を行う。 製品のロゴを作成する活動を行う。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	タブレット端末    <p>難しかったことは窓拭きの下の角のところが落ちない汚れがあってそれを落とすのが難しかったです！</p> 
	ねらい・工夫点	〈ねらい〉 ○周囲の人に自分の考えをまとめ、伝える学習に意欲的に取り組む。 ○商品をPRする言葉を考え、伝えたい良さを表現する。 〈工夫点〉 <ul style="list-style-type: none"> まとめの際に、感情を効果的に表現する画像や動画等を使い、より伝わりやすく表現できるようにした。 ロゴを作成する際に、テンプレートを活用しながら抵抗なく取り組めるようにした。 お互いのロゴを見合う機会を設け、対話を通してよりよいものにしようと工夫できるようにした。
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ (Canva)
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> まとめの活動で繰り返しICTを活用し、正確に内容や感情が伝わることで、自信につながったり、聞き手を意識した表現を工夫したりする様子が見られた。 ロゴの作成を抵抗なく行うことができ、お互いに見合うことで意欲的に活動する様子が見られた。 	